

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	13-080	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Hospital admissions for alcohol use disorders before, during, and after pregnancy: a study based on linked population data in new South Wales, Australia.</p> <p>妊娠前・中・後の飲酒による入院：オーストラリア、ニューサウスウェールズにおける一般住民データに基づいた研究から</p>		
執筆者		
Xu F, Bonello M, Burns L, Austin MP, Li Z, Sullivan E.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2013 Oct;37(10):1706-12. doi: 10.1111/acer.12138.		
キーワード		PMID
飲酒、オーストラリア、精神疾患、周産期、妊娠		23763693
要 旨		
目的：		
<p>妊娠中のアルコール使用障害 (AUD) は、胎児性アルコール・スペクトラム障害 (FASD) を含む、新生児にとって生涯にわたる深刻な障害を起こし得る。妊娠中の AUD による入院は介入するためのよい機会である。また、妊娠中の AUD を有する女性の特徴を把握することは、その予防のためのストラテジー、方針、ガイドラインを立てる上で、非常に有用である。本研究は、妊娠前 6 ヶ月から出産後 1 年までの AUD による入院を記述的に調査し、またその関連要因を検討することを目的とした。</p>		
方法：		
<p>本研究は、ニューサウスウェールズの Midwives Data Collection および Admitted Patients Data Collection を使用し、2002 年から 2005 年までの一般住民データに基づいて解析を行った。妊娠前 6 ヶ月から出産後 1 年までの期間で、アルコールによる精神および行動障害 (MBDA) (ICD10-AM: F10.0-10.9)、アルコール中毒 (T51.0-51.9)、飲酒による胎児障害疑いに対する妊婦へのケア (O35.4)、およびアルコールリハビリテーション (Z50.2) により入院した初産婦を対象とした。</p>		
結果：		
<p>研究期間中に 175 産婦が AUD により 287 回入院していた。AUD による入院率は、妊娠前 6 ヶ月、妊娠中、産後 1 年間で、それぞれ 1,000 人あたり 1.76 件 (95%信頼区間 1.45-2.07)、0.49 件 (95%信頼区間 0.36-0.63)、0.82 件 (95%信頼区間 0.67-0.97) であった。妊娠中喫煙者、遠隔居住者、および 25 歳未満の妊産婦は、AUD による入院率が高かった。</p>		
結論：		
<p>AUD による入院は、妊娠前と比較して、妊娠中および産後で有意に少なかった。</p>		